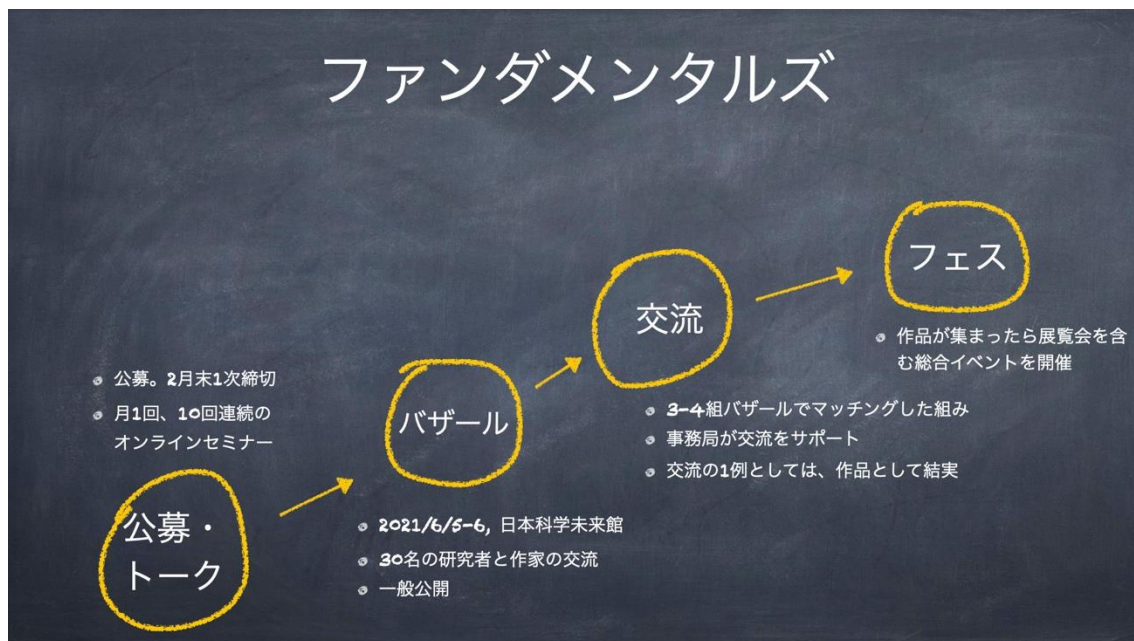


2020/09/16

配信元：東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU）
大阪大学

科学と美術のオンライン連続セミナー「ファンダメンタルズ トーク」を開催



東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU）は、科学技術広報研究会（JACST）隣接領域と連携した広報業務部会と共に、オンライン連続セミナー「ファンダメンタルズ トーク」を開催、大阪大学大学院理学研究科が協力します。

オンライン連続セミナー「ファンダメンタルズ トーク」は、来年6月5日と6日に日本科学未来館で開催が予定されている科学者と美術家の交流会「ファンダメンタルズ バザール」当日の交流をより深いものとするを目的としています。

人文・美術分野の専門家を招聘して科学の本質や美術の本質にまつわる多様な視点を提供する包括シリーズと、科学技術広報研究会（JACST）隣接領域と連携した広報業務部会のメンバーが所属する5つの研究機関の研究者が自身の研究内容を伝えるサイエンスシリーズを、全10回程度、月に1度程度交互に実施してゆきます（閲覧無料、基本的にはアーカイブ配信あり）。

<https://www.fundamentalz.jp/fundamentalzstalk>

第1回「数学—日常とは異なった対象との触れ方について」戸田幸伸（数学）、第2回「色について語るときに我々の語ること——科学にとっての、美術にとっての、哲学にとっての

「質」 山口尚（哲学）は実施済みで、現在アーカイブ配信をご覧ください。

パンデミックの渦中、これまでの日常が日常でなくなり、あちこちで根源を問い直さざるを得ない状況に直面しています。企画「ファンダメンタルズ」は、最先端科学を中心とした分野の研究者と現代の美術を中心とした作家のことを、真理に類する本質的ななにか（ファンダメンタル）を探ろうとするという点で態度を同じくする”ファンダメンタルズ”であると定義します。彼/彼女らが普段の営為から逃れてファンダメンタルを多様な形で追いうるプラットフォームの形成を目指すとともに、今ファンダメンタルの意義を広く一般に提示する試みです。

イベント「ファンダメンタルズ バザール」は、広く公募で募った最先端科学を中心とした分野の研究者 15 名、現代の美術を中心とした分野の作家 15 名、あわせて 30 名のファンダメンタルズが交流するプログラムを実施し、その一部を一般に拓きます。研究者と作家の一次募集は始まっており、申し込み締め切りは 2 月末日となっています。多くの研究者と作家の皆様のご応募をお待ちしています。

オンライン連続セミナー「ファンダメンタルズ トーク」は、「ファンダメンタルズ バザール」を含む「ファンダメンタルズ」の説明会を兼ねています。是非お気軽に質問をお寄せください。

プログラム一覧

[数学]

8 月 2 日	「数学—日常とは異なった対象との触れ方について」	戸田幸伸（数学）
---------	--------------------------	----------

[科学と美術 1—前提編]

9 月 14 日	「色について語るときに我々の語ること——科学にとっての、美術にとっての、哲学にとっての「質」」	山口尚（哲学）
10 月 30 日	未定	風間北斗（脳神経科学）
11 月	「レディメイドの発生——マルセル・デュシャンにみる芸術と科学の間（仮題）」	中尾拓哉（美術評論家・芸術学）

12 月	未定	橋本幸士（理論物理学）
1 月	「科学者が科学以外の方法を持つということ（仮題）」	岩崎秀雄（生物学・バイオアート）

[科学と美術 2ー帰結への道編]

2 月	「芸術における真理（仮題）」	小平健太（芸術学・解釈学）
3 月	未定	金セツピョル（映像人類学）
4 月	「数学と感覚世界（仮題）」	東慎一郎（科学史）
5 月	未定	（人間文化研究機構 総合地球環境学研究所にて調整中）

[美術]

5 月	「芸術における抽象」	岡崎乾二郎（造形作家・批評）
-----	------------	----------------

概要

- タイトル： ファンダメンタルズ トーク
- 日 時： 各回 90 分程度、月に 1 回程度の開催
- 会 場： オンライン開催（JACST 隣接領域と連携した広報業務部会 Youtube チャンネル）
- 対 象： 現代の美術に携わる方々、最先端科学を中心とした分野の研究者、中高生/大人
- 参加費： 無料
- 定 員： なし
- 申 込： なし（回によっては申込が必要になります）
- 主 催： 科学技術広報研究会（JACST）隣接領域と連携した広報業務部会
- 共 催： 東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU）
- 助 成： 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
- 協 力： 大阪大学大学院理学研究科

科学技術広報研究会(JACST) 隣接領域と連携した広報部会とは

科学技術広報研究会 (JACST: Japan Association of Communication for Science and Technology) は、研究機関や大学などの広報担当者が、所属する組織の枠をこえて、広報活動における課題を共有し、それらを通してお互いに助け合い、共に成長していくことを目指したインデペンデントな互助組織です。2007年に設立され、現在約80機関から約200名の広報担当者が参加しています。

隣接領域と連携した広報業務部会は、JACSTにある部会の1つで、大阪大学大学院理学研究科、東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)、人間文化研究機構、人間文化研究機構 総合地球環境学研究所、理化学研究所 脳神経科学研究センター (CBS) 等に所属する広報担当者から成ります。例えば芸術や哲学など科学と隣接していると思われる分野と連携した広報業務を実践的に研究しています。2019年発足。

東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU) とは

2007年、文部科学省による事業「世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)」に採択され、東京大学をホストとして発足。世界中から集まった約100名の数学、物理学、天文学など3つの領域の研究者が連携し、宇宙の5つの謎；宇宙の始まり、終わり、何でできている、どのような法則が働いているのか、我々は何故宇宙に存在するのか、の解明に取り組んでいる。2012年には米国Kavli財団から寄附を受けて、数物連携宇宙研究機構 (IPMU) から、カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU) と改称。多数の国際共著論文と高被引用論文を輩出している。2018年から素粒子論を専門とする大栗博司が機構長。

連絡先

東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 広報担当 / 科学技術広報研究会
隣接領域と連携した広報部会 会長 坪井あや

E-mail: contact@fundamentalz.jp

TEL: 04-7136-5981

ファンダメンタルズ Web サイト・SNS アカウント

Web: <https://fundamentalz.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/fundamentalz.B>

Twitter: http://twitter.com/fundamentalz_B

Youtube チャンネル: <https://www.youtube.com/channel/UC5Jgh-A5qxeDCQKLRj2RVhQ>